

のびるよ そだつよ

国立市立国立第五小学校 研究便り

校長 向井 美紀

NO. 3 令和3年10月29日

(編集：国立第五小学校 研究部)

この「のびるよ そだつよ」は、本校が進めている研究活動を保護者の皆様にご紹介するための研究便りです。研究内容や公開授業の日程、子供たちの様子等をホームページ上でお知らせしていきます。

つくし 国語 「詩を書こう」 9月7日(火)

3人で1つの詩を作ることから始めました。「夏休み」をお題にして、「海に行ったよ。」「誕生日でプレゼントをもらった。」「宿題頑張った。」「やっぱりバーベキューだよね。」など楽しかったことや夏休みらしいことなどを模造紙に書き出しました。その中から一番伝えたいこと、一番心に残ったことを自分の言葉で文にし、全部で6つの文を合体させるために話し合いをしました。「楽しいことは楽しいことでまとめてみようよ。」



「困ったことはどこに並べるといいかな？」話し合いの結果、とても

素敵な詩ができあがりました。



その後の活動では、一人一人が詩を作りました。3人で話し合った事を生かしたり、新しく「るんるん」「わくわく」などの擬声語や「～のように」の比喩表現を取り入れたりしてそれぞれ詩を書きあげました。

土曜オンライン公開授業でお家の方も見ている中で、立派に発表を行いました。

3年1組 国語 「班で意見をまとめよう」 10月18日(月)

4人一組に分かれ、「1年生に読み聞かせをする本を決めよう」をめぐって、班で話し合い活動を行いました。本単元では、司会、記録、時間係に別れ、役割を理解しながら協力して話し合いをすすめる姿が見られました。



また、クラスでは、子どもたち一人一人が選んできた本を担当が1冊ずつ読

み聞かせしました。子どもたちは、「自分が1年生の時に読んでもらいました。」「優しい気持ちなるから好きです。」など、思い思いに選書した理由を述べていました。



当日は、ICTを活用した授業でした。1人1台端末を用いて、自分のお気に入りのページを紹介してから話し合いを進めました。

読み聞かせの本が決まった班やなかなか決まらなかった班がありましたが、自分の思いを友達に伝え合うことができました。

いよいよ来週、1年生の教室に行き、読み聞かせをしてきます。



